

会 議 録

会 議 名	第 2 6 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 4 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	令和 2 年 1 1 月 2 日 ( 月 ) 午前 9 時 3 0 分～午前 1 1 時		
開 催 場 所	I T ルーム		
出 席 委 員	阿部光子委員、今村誠委員、大野芳輝委員、金ヶ江博紀委員、 齊藤美恵子委員、高橋陽子委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	松本浩明主任、山崎敬広主任、永嶋汐美		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者 数	なし
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会（10月16日開催）の報告</p> <p>2 令和2年度の講座等について</p> <p>3 東京都公民館連絡協議会研究大会について</p> <p>4 東京都公民館連絡協議会委員部会研修会に参加して</p> <p>5 企画実行委員連絡会について</p> <p>6 各講座の計画</p> <p>〔報告〕市民講座「健やかな毎日のために腸内環境を整える」</p> <p>〔計画〕高齢者学級「けやき学級」、市民講座「笑って学ぼう 笑ンディングノート」、成人学校「植物観察」、 太古の世界を旅しよう！「首長竜フタバスズキリュウ」、成人学校「ウクレレ入門」、成人学校「使い方を学んで生活を便利に シニア向けスマホ講座」、親子で学ぼう「スマホデビューの危険回避術」</p> <p>7 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人学校「かるーい粘土でデコレーション～フラワーケーキ」</li> <li>・成人学校「水引細工で作る 梅結びのリース」</li> </ul> <p>次回の日程</p> <p style="text-align: center;">令和2年12月1日(月) 午前9時30分～</p>		

## 審議経過（主な発言要旨等）

### 1 公民館運営審議会（10月17日開催）の報告

#### (1) 報告事項

##### ア 都公連委員部会運営委員会について

10月24日（土）の委員部会研修会の後に反省会を行う。

##### イ 東京都公民館研究大会企画委員会について

10月14日に町田市で行い、人が集まることは止め、基調講演はユーチューブチャンネルで長澤成次さん(千葉大学名誉教授)の講演を流し、分科会は報告書という形で都公連のホームページに載せることとなる。なお、オンライン配信日は2月10日となる。

##### ウ 公民館事業の報告について

貫井南分館からは報告なし。本館のコロナ禍における特別主催事業「Study Room HONKAN」は10月1日からの登録者が8名、10月12日から利用開始したが4名の利用に留まっているため、対象者拡大し中学生（保護者の同意書が必要）からとした。今後は市内の大学や高校へのPR協力を要請していく。貫井北町分館では「きたまち学びといこいの広場」では、10月7日から累計36名の利用となった。委員から利用時間の本館、貫井北町分館双方の整合性やNPOと公民館、フリースペース含め、全体的な整理が必要ではないかとの意見が出された。

#### (2) 協議事項

##### ア 小金井市公民館中長期計画について

今回、前回の審議内容を含めた形の小金井市公民館中長期計画（素案）の中で職員は庁舎にいて各館の統括と事業の方向性等を行っていく等の説明を行った。委員からは「公民館課」の設置を一番の主張とし、委託ありきでの書き方ではない方が良いとの意見から、各館の成り立ちや特色を総合的に検討し、それでも委託が望ましいかの検討を行うことの一文を入れることとなった。また、障害者に向けたことも盛り込むこととなった。なお、具体的スケジュールは生涯学習推進計画の中で示していく。

#### (3) 審議事項

##### イ 公民館事業の計画について

貫井南分館からは、「太古の世界を旅しよう～首長竜フタバスズキリュウ」、成人学校「植物観察」、成人学校「かるーい粘土でデコレーション～お部屋華やぐマカロンのミニフレーム」を提出。質疑なし。委員から

は計画一覧表に担当者を明記、また前の計画がどうなったかの記載が欲しいとの意見が出された。

#### (4) その他

- ・9月17日開催時の傍聴者の意見も踏まえて、中長期計画に反映している。
- ・10月24日（土）は都公連委員部会の研修会が小平市中央公民館で午後2時から開催予定。

## 2 令和2年度の講座等について

市民講座「健やかな毎日のために 腸内環境を整える」（2回）で10月10日が台風のため中止となったため、1回分の市民講座講師謝礼が残った。その1回分については防災関係の講座を考え、貫井南町中自主防災会に話を持ち掛けているが、提案がないようであれば新しく企画する必要がある。

## 3 東京公民館連絡協議会研究大会について

会場は町田市となるところであるが、今回はコロナ禍で人を集めることはやめ、基調講演はユーチューブチャンネルで講演を流し、分科会は報告書という形で東京都公民館連絡協議会のホームページに掲載することとなった。

## 4 東京都公民館連絡協議会委員部会研修会に参加して

10月24日（土）午後2時から小平市中央公民館での「緊急事態宣言後の公民館のあり方 公民館の基本活動の本質を求めて」のテーマで、安藤聡彦さん（埼玉大学教授）の話を伺った。コロナ禍でのオンライン配信も参加できないか方の層を増やすことができる、今まで公民館へ来ない方へのアウトリーチもできることでは大切であるが、オンラインを切れば「はい、さよなら」、「こんなものか」で後に続かないことは否めないことから、やはり公民館という場所性がキーポイントとなる。場所性を高めていく必要がある。気軽に立ち寄れるスポット（フリースペース、カフェ等）、ちょっと足を止めて楽しめるイベント（ミニコンサート等）の開催が必要で、居場所の拠点づくりが大切であるとの話が聞くことができた。

## 5 令和2年度第1回公民館企画実行委員連絡会について

11月17日（火）午後2時から公民館本館学習室Bで開催予定。参加は各館3名以内のため、今村委員、大野委員、金ヶ江委員の3人が出席予定。資料は共通のフォーマットで提出、4つ議題についての協議を行う。議題について松本が要点のまとめを行っておくこととなった。

## 6 各講座の計画

### 【報告】

#### ○市民講座「健やかな毎日のために 腸内環境を整える」

10月10日(土)、17日(土)午前10時からの開催を予定していたが、10日は台風接近により中止、17日に10日に話す内容を含めての17日のみの開催となったことは残念であった。定員20人に対し、参加20人と欠席者が出なかった。参加者年代は50から80代で70代が一番多かった。講師も分かりやすく話されて、参加者の感想も好評であった。

### 【計画】

#### ○高齢者学級「けやき学級」

11月11日(水)は「認知症とボッチャ」であるが、10月22日(木)に講座にお手伝い頂くボッチャ隊(2人)との打ち合わせを行った。6チーム編成で、A、Bの2コートで3チームによるリーグ戦を行い、その後、1位から4位の決定戦を行う。コロナ対策として、換気他、消毒(ボールではなく各人の手を消毒)に気を使いながら行う。認知症の講義は50分とし、用意後にボッチャを開始することとした。当日、ボッチャ隊は4人が審判でお手伝いを頂く予定。

#### ○市民講座「笑って学ぼう エンディングノート」

11月6日(金)午前10時から開催予定。前日午後5時以降に高座と会場設営を行う。募集定員25人に対して、28人の応募があった。男性4人、女性24人、平均年齢68歳(男性65歳、女性69歳)となった。

#### ○成人学校「植物観察」

11月13日(金)に座学、20日(金)は野川公園自然観察園での野外実習を行う予定。10月16日から応募を開始し、定員15人に達した。応募者は40代から70代で、男性5人、女性10人となった。13日の午後には講師を含め実踏を行う予定。

#### ○「太古の世界を旅しよう！首長竜フタバズキリュウ」

この講演を快諾していただいた佐藤たまきさん(東京学芸大学准教授)は、首長竜研究の第一人者で、国立科学博物館での首長竜紹介VTRへの出演やNHKへの出演など活躍されているこの分野で著名な方。募集25人のところ親子37組43人の応募となり抽選を行い、学習室ABの定員

が35名であるため、33人の当選とした。内訳は子ども24人、大人19人。保育も2人の申し込みがあった。

#### ○成人学校「ウクレレ入門」

市報11月1日号、月刊こうみんかん11月号に掲載し、募集は10人。現時点で既に定員を超えた応募があり、11月11日必着での応募となるが、締め切り翌日の12日に抽選を行う予定。

#### ○成人学校「使い方を学んで生活を便利に シニア向けスマホ講座」

市報12月15日号、月刊こうみんかん12月号で募集となる。

#### ○親子で学ぼう「スマホデビューの危険回避術」

市報11月15日号、月刊こうみんかん11月号で募集、定員25人。この講座は子ども向けとしているため、応募状況では更に、学校へのチラシ配布も行う予定。

## 4 その他

- ・成人学校「かるーい粘土でデコレーション お部屋華やぐマカロンのミニフレーム」応募状況は低位8人のところ現在3人。
- ・成人学校「水引細工で作る 梅結びのリース」の募集は、市報11月15日号、月刊こうみんかん11月号。

次回の日程（予定） 令和2年12月1日（火）午前9時30分から